

全国共済農業協同組合連合会から、市へ「高規格救急車」が寄贈され、3月29日(木)、受納式典が行われました。

今回寄贈された高規格救急車には、気道確保用資機材、輸液用資機材、自動心臓マッサージ器など、高度な救命措置の機材が積載され、さらなる救命活動の充実が期待されます。寄贈を受けた神谷副市長は「市は消防の出動件数が増加の一途をたどっています。この救急車両を活用し、一人でも多くの市民の命を守っていきたい」とお礼を述べました。

ニュース・ダイジェストNAHA



救命活動の充実に貢献 ～高規格救急車受納式典～

4月1日から那覇市暴力団排除条例を施行しました。那覇市では暴力団がない安全安心なまちづくりへの取り組みを強化します。その条例施行を前に3月28日(水)、暴力団排除那覇市民大会がパレット市民劇場で行われ、みんなで協力して暴力団を社会から排除していく決意表明しました。市民のみなさん、暴力団から脅されたり、暴力団に関する情報を得たときには、警察や市にお知らせください。みんなで協力しあい、まちから暴力団を排除しましょう!



那覇市暴力団排除条例が施行 ～暴力団排除那覇市民大会～

3月23日(金)、市長応接室で公園ボランティアおよび道路ボランティアの協定書調印式が行われました。これは、協働によるまちづくりの一環として、企業や学校、各種団体が公園や道路の清掃活動などをを行い、地域の活性化を図ることを目的としています。調印式に参加した代表者の方々は、「ボランティア活動をしていると地域の人々から声をかけられるようになり、地域との交流や、地域貢献の気持ちが社員の充実感にもつながっています」と語りました。



地域で助け合い、幸せを感じられるまちづくりを ～公園・道路ボランティア協定書調印式～

那覇市制施行91周年記念式典

那覇市は大正10年5月20日に市制を施行し、今年で91周年を迎えます。市の誕生日にあたる市制施行記念日に記念式典を開催しますので市民の皆さまのご来場をお待ちしています。※市では4月から「ハイサイ運動」を展開中ですが、この運動は、琉舞や古典音楽などの沖縄文化の土台であるウチナーチを守り伝えることを目的にしています。そのため今年は、琉舞の玉城節子氏と組踊音楽三線の西江喜春氏によります至芸の披露とともに、市長のウチナーチへの思いを講演する第1部と、今年度の市政功労者表彰の第2部の2部構成で式典を挙行いたします。

【日時】5月20日(日)

【会場】パレット市民劇場

第1部 記念舞台 (15時00分~)

- ・琉舞並びに古典演奏
西江喜春(人間国宝)、玉城節子(国指定重要無形文化財保持者)
- ・市長講演

第2部 市政功労者の表彰(16時20分~)

※入場無料 【お問い合わせ】秘書広報課 ☎861-5173



那覇市歴史博物館企画展 日本復帰40年記念
「あれから40年～Okinawaから沖縄へ～」II

沖縄戦という地上戦や異民族支配(米軍統治)を体験してきた沖縄県民は、軍国主義の象徴であった「日の丸」から、和平を謳った憲法が施行された日本国の一自治体「沖縄県」になりました。

日本政府は、沖縄の日本復帰歓迎行事として、「若夏国体」(1973年)、「沖縄国際海洋博覧会」(1973年)、「沖縄の丸」をかざしながら、日本両政府に対し日本復帰を要請し、各種請願運動を展開しました。その結果、1972年5月15日、

沖縄では、1947年米海軍軍政府指令により車の右側通行が指示されたため、日本本土とは違う「車の右側通行」でした。沖縄の復帰とともに交通方法の変更を計画しました。生活環境の

7月30日午前6時を以て、これまでの右側通行から日本と同じ左側通行(車は左)に変更するものでした。交通方法変更(1978年)を行いました。

沖縄では、1947年米海軍軍政府指令により車の右側通行が指示されたため、日本本土とは違う「車の右側通行」でした。沖縄の復帰とともに交通方法の変更を計画しました。生活環境の

</div